
症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における

患者プライバシー保護に関する指針

医療を実施するに際して患者のプライバシー保護は医療者に求められる重要な責務である。一方、医学研究において症例報告は医学・医療の進歩に貢献してきており、国民の健康、福祉の向上に重要な役割を果たしている。医学論文あるいは学会・研究会において発表される症例報告では、特定の患者の疾患や治療内容に関する情報が記載されることが多い。その際、プライバシー保護に配慮し、患者が特定されないよう留意しなければならない。

以下は各種学会協議会において採択された、症例報告を含む医学論文・学会研究会における学術発表における患者プライバシー保護に関する指針である。

J R 札幌病院循環器内科においても以下の指針を遵守している。

1. 患者個人の特定可能な氏名、入院番号、イニシャルまたは「呼び名」は記載しない。
2. 患者の住所は記載しない。但し、疾患の発生場所が病態等に関連する場合は区域までに限定して記載することを可とする。（北海道、札幌市など）。
3. 日付は、臨床経過を知る上で必要となることが多いので、個人が特定できないと判断される場合は年月までを記載してよい。

4. 他の情報と診療科名を照合することにより患者が特定され得る場合、診療科名は記載しない。
5. 既に他院などで診断・治療を受けている場合、その施設名ならびに所在地を記載しない。但し、救急医療などで搬送元の記載が不可欠の場合はこの限りではない。
6. 顔写真を提示する際には目を隠す。眼疾患の場合は、顔全体が分からないよう眼球のみの拡大写真とする。
7. 症例を特定できる生検、剖検、画像情報に含まれる番号などは削除する。
8. 以上の配慮をしても個人が特定化される可能性のある場合は、発表に関する同意を患者自身（または遺族か代理人、小児では保護者）から得るか、倫理委員会の承認を得る。
9. 遺伝性疾患やヒトゲノム・遺伝子解析を伴う症例報告では「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」による規定を遵守する。

J R 札幌病院を受診された患者様へ

当院では札幌医科大学と協力して、心臓カテーテル検査を受けた患者様の臨床研究を実施しております。本研究は疫学・観察研究であり、臨床研究への参加により患者様の治療方針が変わることはありません。

また日本心血管インターベンション学会のカテーテル治療の臨床成績にかかわる登録事業にも参加しております。本研究は日本全国のカテーテル手術・治療情報を登録し、集計・分析することで医療の質の向上に役立て、患者様に最善の医療を提供することを目指すものです。

これらの登録のために電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用いたします。利用する情報から氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報は削除致します。

また医学・医療の発展に貢献できると思われる貴重な症例につきましては、症例報告や学会発表をさせていただくことがございます。その際には患者様を特定できる個人情報の扱いには十分に配慮し、プライバシーに配慮いたします。

これらの研究や症例報告および学会発表の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究および発表目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先 循環器内科 長谷川 徹 電話： 011-208-7150